

放課後等デイサービス向け研修会

気になる子どもの行動理解と対応

～理解し、考え、支援に活かす～

日時 <全2回開催：2日間共ご参加下さい>

内容 1日目:令和5年3月8日(水) 10:00～12:00
2日目:令和5年3月15日(水) 10:00～12:00

「問題行動のアセスメント、支援方法の決め方について」

※1日目はアセスメント～支援方法の決め方の解説、2日目は事例を用いたケーススタディを予定しております。

場所 オンラインシステム (Zoom) を使用して開催致します。
※通常のインターネットアクセス環境があれば、ご参加頂けます。
※講師との双方向のやり取りがあります。

講師 明星大学 心理学部心理学科 教授 竹内 康二 氏

対象 横浜市内の放課後等デイサービス事業所に所属されており、以下のいずれかに該当される方
・児童発達支援管理責任者
・常勤の直接支援員として2年以上の勤務経験がある

参加費 無料(事前の参加申込が必要です)

定員

50名

※受付は先着順となります。

- ・ 気になるお子さんの行動の理由をアセスメントし、支援方法を選択することを学んで頂ける研修です。
- ・ 2日間ともご参加頂けることが応募の条件となります。
- ・ 定員の都合上、申込みは1事業所あたり1名様まででお願い致します。

申込方法 ①「障害福祉情報サービスかながわ」HP又は下記URLからお申込み下さい。
(<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/4c20ab2a-c57d-49b2-b21b-3f41ff1e1903/start>)
②オンラインシステム (ZoomのURL) を横浜市よりお送り致しますのでメールアドレスのご提供をお願い致します。

申込みにあたって提供された個人情報、横浜市が、本研修の受講に際して必要な連絡並びに今後企画する研修等の参考にものみ使用します。(なお、共催の塩野義製薬株式会社は、申込者の個人情報を取得しません)

申込締切 令和5年3月3日(金) 17:00



講師の紹介

竹内 康二氏

明星大学 心理学部心理学科 教授

- 博士(心身障害学)臨床心理士
- 一般社団法人共生社会研究センター 理事長
- NPO法人クラージュ理事

応用行動分析学が専門で、一般的な対応では改善が難しい行動上の問題に対して、応用行動分析学に基づいた方法で解決を試みている。「すべての行動には意味がある」という観点から、一般的に「なぜそんなことをするのか分からない」と言われる行動を分析することを目指している。特に、社会的マイノリティとされる人たち、例えば障害児者とその家族など、が生きやすい「多様性を認める社会」のあり方を探索している。

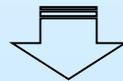
【研修内容】

以下のようなお子さんの支援方法に迷うことはありませんか？

例えば・・・

- ・活動に取り組める時間が短く、すぐに離席し、好きな玩具で遊び始める。
- ・ゲームの対戦で、負けてしまう場面で、大きな声で叫ぶ。
- ・特定の職員の注意を引くため、意識的に椅子を倒すなどの行為を行う。
- ・工作活動を行うと制作に没頭し、次の活動に移れない。

・・・などなど



「気になる行動」の理由を探り、それに応じた支援方法を考える手法を学びます。

(講師が作成したアセスメントツールを配布し、それらを使って個別支援計画に活用することを目指します。)

問い合わせ先

横浜市こども青少年局障害児福祉保健課

[TEL:045-671-4274](tel:045-671-4274)

FAX:045-663-2304